

...ボランティアがつくるニュースレター...

トラストネットワーク

作 成…トラスト通信ボランティア
発 行…(一財) 世田谷トラストまちづくり

〒155-0031
世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール7階
Tel・03(6407)3311 Fax・03(6407)3319
<http://www.setagayatm.or.jp/>



No. 69 2015年 9月

世田谷区の

生物多様性地域戦略づくり

7月20日(月)午後1時30分から「世田谷区の生物多様性地域戦略づくり」のキックオフイベントが成城ホールで開催されました。

梅雨明けの気温34度と蒸し暑い日でしたが、ちょうど夏休みが始まったばかりで、「海の日」の祝日でもあったので、会場には多くの親子連れが集まっていました。

このイベントは、世田谷区が今年度から2年間かけてつくりあげる世田谷区生物多様性地域戦略について広く区民に知ってもらおうとともに、区内の生物情報収集を区民から募ることを目的に企画されたものです。

会は以下の1、2、4項の3パートに分けて進められました。

1 生物多様性戦略とは：

まず、区の「みどりとみず政策担当部・みどり政策課長」の高木さんから、

「生きものと共生するみどり豊かな街づくりを進めるための計画づくりを始めましょう」と、「現在、絶滅する種が増加しており生物多様性が危機に陥っているので、こうしたプロジェクトが企画されました」という説明がありました。



私たちは「生物多様性の恵み」を受けていますが、反面で、①人間による開発、②人による管理、③人による持ち込み、④地球環境の変化、によってその状況は悪化しています。

こうした背景のなかで、世田谷区独自の生物多様性地域戦略を、つくりあげていくそうです。

69号の目次

生物多様性地域戦略づくり	1
事例見学会 空き家等地域貢献活用	3
植木の手入れと病虫害対策	5
せたがや散歩道	6
かわらばん	8

見つけてほしい生きもの * 追加した種類

哺乳類	鳥類	昆虫類
タヌキ	オナガ	ベニシジミ*
ハクビシン*	ツバメの巣	アカボシゴマダラ
アライグマ*		ヒグラシ
コウモリ	爬虫類	カブトムシ
モグラ塚*	ヤモリ	カマキリ類
	カナヘビ*	
両生類	陸貝	植物
ヒキガエル*	カタツムリ類	ススキ*

2 生きものしらべガイダンス*

この区民参加による生物調査として、夏休みの子ども達を中心に身近な所に生息している「生きもの」の調べ方の説明がありました。「世田谷トラストまちづくり」の「まちの生きものしらべ」をベースに、今回の調査は、ハクビシン、アライグマ、ススキなど7種類を追加して17種類を対象に情報を集めます。「見つけてほしい生きもの」の表*を参照下さい。

そのやり方は、①生きものを見つける、②見つけたら観察する、③観察記録を報告する（調査票に記入して提出する。Eメール、ファックス、郵送など）。期間は、7月20日(月)から9月30日(水)まで。その際の注意点は、①ウソはだめ、②むやみに捕えたり切ったりしない、③安全第一、④他人の家や敷地に無断で入らない、などルールを守って調査をするようにと強調されていました。

3 地域戦略策定の背景**

生物多様性については、国際条約締結および批准、国内的には関連法規の整備などが進み、各行政機関がその推進に取り組み始めた時期になります。世田谷区では、2015年6月に生物多様性地域戦略に関する諮問を区

環境審議会が区長より受け、その実行体制として検討部会が編成され、活動を開始し始めています。

世田谷区の生物多様性地域戦略づくりの「キックオフイベント」は関連する活動のひとつです。世田谷区近隣の自治体は表1に示すような状況になっています。すでに戦略を定め、活動に入っている自治体が多いという印象です。「生きものしらべ」を通しての「世田谷トラストまちづくり」の活動が一層期待されるでしょう。

これまで世田谷区は「みどり33」を基本とした施策を進めてきました。しかし今後は「生物多様性地域戦略」と統合した具体的なプロジェクトを如何に進めるかという大きな課題に向き合うことになるでしょう。

4 生きもののおもしろ講演会

おなじみのプロ・ナチュラリストの佐々木洋さんの講演です。さすがに手慣れたもので、会場に詰めかけた子ども達とやりとりをしながら、話が進んでいきます。セミの話でした。

「鳴くセミは雄でしょうか、雌でしょうか？」佐々木さんの質問に子ども達が「オスだ、メスだ」と手を上げたり、大声を出したりして答えていました。「セミの羽は何枚ですか？」「ミンミン鳴くのがミンミンゼミですが、アブラゼミはどうしてアブラゼミと呼ばれるのでしょうか？」。

セミの次はトンボです。トンボという名前はどのようについたのでしょうか。「飛ぶ棒」に由来することはご存知でしたか。そして、日本は世界的に見てトンボの種類が多い国だそうです。また、トンボは水とのかかわりが深く、トンボによってその場所の水を含めた環境がよく分かるのだ

表1 近隣自治体の地域戦略策定状況

地域	戦略名	策定年月
大田区	大田区環境基本計画	2013年3月
港区	港区生物多様性地域戦略	2014年3月
目黒区	目黒区生物多様性地域戦略	2014年3月
豊島区	豊島区環境基本計画2014-2018	2014年3月
府中市	府中市生物多様性地域戦略	2015年1月
稲城市	生物多様性いなぎ戦略	2015年3月
町田市	町田生きもの共生プラン	2015年3月
川崎市	生物多様性かわさき戦略	2014年3月

そうです。

こうした身近な昆虫や野生動物の話をしながら、生物にとっては「バランス」が大切であり、それが生物多様性につながると説明されていました。さらに、「生物多様性は大きな地域を対象に考えることが必要です」と、生物多様性が重要であることを子ども達にやさしく語りかけていました。

最後の20分ほどは質問タイムです。生きものについての子ども達の質問に佐々木さんは丁寧に答えていました。例えば、「なぜザリガニは日本中にたくさんいるのですか？」という質問の答えは、「かつて食用のウシガエルがたくさん輸入されました。ザリガニはウシガエルの好物なので、餌として一緒に日本に持ち込まれたのですが、それが現在みられるように日本全国に広がってしまった」のだそうです。

また、ナメクジについての質問では、「ナメクジは貝の仲間で、昔は殻があったのですが、それがしだいになくなってしまい今のうちに中身だけになったのです。だから、カタツムリに比べてナメクジの方が進化した生きものなのです」という説明がありました。

こうした話で予定の時間は過ぎてしまい講演会は15時10分すぎに終わりました。話のあちこちに生きものについてのトリビアがあり、子ども達は十分に楽しんでいました。なお、会場の入り口前には、「これまでの生きものしらべ」の展示があり、「生きもの相談コーナー」が16時まで開かれています。

* まちの生きものしらべ 2015 調査ガイドブック

** 参考資料：(仮称)世田谷区生物多様性地域戦略
環境審議会検討部会(第1回)関連資料1～4

空き家等地域貢献活用をめざして

2015年度企画募集

モデル事例見学と相談会

市民緑地の開放により市民はみどりに触れられる様に、空き家等のスペースの開放によりひと同志の触れ合いが始められます。

(一財)世田谷トラストまちづくりでは、地域共生のいえづくり支援として数々の実績を築いて来ました。岡さんのいえTOMO、ルツの家等がその初期の代表例です。(本紙45号, 51号参照)

この様な背景で2年前より区住宅課から「空き家等地域貢献活用相談窓口」業務を受託した財団は、地域貢献を目指すオーナーの企画と、地域団体の企画の引合わせを行い、全体として空き家等の活用を推進しています。窓口では世田谷区から支援される初期整備助成200万円のほか、今年度から専門家による建築のアドバイスが追加されるようになりました。

7月11日には今年度3回目の「見学会」と「相談会」が行われました。今後は8月14日応募締切、9月12日公開審査会の予定となっています。



シェア奥沢 主ホール

[事例見学会]

シェア奥沢(奥沢2-32-11)

自宅の空き部屋を提供されたオーナーの堀内さんから説明を伺いました。

この会場は築80年余で、8畳2間と縁側、キッチンおよび控の間に構成されています。

2000年ころまでは親族が使用していましたが、その後空き部屋になっていたのですが、自分で使用したり、物置代わりに使ったりして片づける時間がないまま13年ほど経ってしまいました。

その頃偶然なことから片づける有志が現れ、2013年には整備が完了し7月にシェア奥沢として暫定オープンしました。この際、区の空き家等地域貢献活用に応募したのです。その後耐震対策強化工事を施し、2014年7月に正式オープンとなりました。

会場の片隅に「地域共生のいえ憲章」として一枚の紙が掲示されていました。その一部を紹介します。

「ふだん着の顔がみえるお付き合い、お手伝い、おすそ分け、お返し、といった分かち合い、ものを作ること、創造する楽しみ、地域で共有されるみどり、こういったお金で置き換えられない価値を大切にし、共通の喜びを生み出して行きたいと思います。」

堀内さんはシェア奥沢の利用者が生み出す価値を交換する仕組みを考慮中です。たとえば「庭の手入れ」をすれば「会場の使用料」に充てるということが出来るという形です。他にもいろいろな形があることでしょう。

堀内さんがシェア奥沢の利点を列挙されました。予約が簡単、会場の落着ける雰囲気、時間に制約がない。キッチンが使えるのでイベントの構成に幅が出る等々。

すでにオープンから1年余りが経過しているので、これまでの経験からオー

ナーとしての自信が伺えます。

利用登録団体も10団体に達し、特に奥沢、玉川田園調布近辺の利用者が多いようです。個人としての利用者も多く、コワーキングとして数組同時に作業を行う場面が多いそうです。

設備面でも音響機器、PC用プロジェクター、大型印刷機などが備えられ、また音楽関係の利用も多く、器楽演奏、コーラスなどピアノも活用しています。



当日のプレゼンテーション

〔個別相談会〕

シェア奥沢の説明終了後、相談会が開始されました。担当は財団から出向いたメンバーが中心となりました。

来訪者はオーナーとしての相談が1組、地域団体の方が2組ほど見えていました。間取図を前にして、専門家に熱心に説明していた姿が印象的でした。



フラワーランド園芸講習会 庭木の手入れと病虫害対策

7月13日(月)午後1時30分からフラワーランドで「庭木の手入れと病虫害の対策」講習会が開催されました。

あらかじめ申し込みのあった人の中から抽選で選ばれた28人が参加したのですが、なんと受講者の半分以上が女性。庭木の手入れとか病虫害の駆除などは男性の仕事とばかり思っていたのでびっくり。年齢構成は、ウィークデーだけに高齢者が多かったようです。

1. 庭木の枝の名称

枝にはそれぞれ呼び名があります。下記の図1を参考にして下さい。

2. 剪定のための道具

大久保型の剪定鋏(せんていばさみ)、普通の剪定鋏、芽つみ剪定鋏、刈込み鋏、鋸(のこぎり)(目の粗いものと目の細かいもの)。

3. 枝の切り方

① 枝を切るときは、葉のあるところの先で切る。葉のないところで切ると枝が枯れる。葉の先10cmのところでは、葉のところまで枝が枯れ、葉のところから新芽が出る。

② 枝抜き 枝が混んでいるときは枝抜きをする。枝を切る場合は、枝分かれした幹のところで、幹に沿うように

斜めに切ると樹皮が切り口を覆って腐るのを止めることができる。

③ 切る枝の順序 i)枯れた枝 ii)からみ合う枝 iii)不釣り合いに勢いよく伸びた枝、の順に切る。枝を切りすぎたときは、隣の枝を引っ張ってきて針金で固定して、空間を埋める。

4. 枝切りの原則

木の上の方から下へと剪定する。木の上端は伸びる勢いが強いので、思い切って剪定し、下の枝は伸びる勢いが弱いので、剪定する量を少なくする。

常緑樹は、7月の暑い時季に枝を切り、落葉樹は枯れることがあるので、暑いときは枝を切らないように。

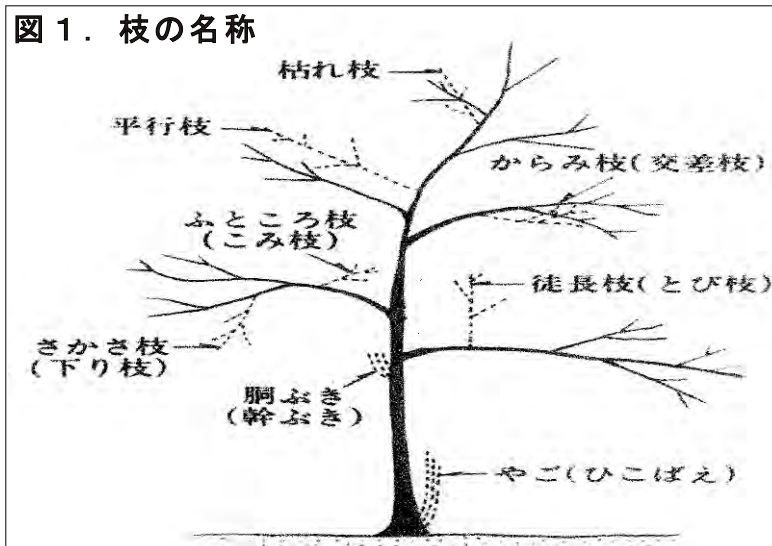
枝は、葉の方向を見て切ること。新芽が葉の方向に伸びるからである。

続いて各月ごとの庭木の手入れ及び施肥等の説明があり座学は終了。



フラワーランド内教室にて

図1. 枝の名称



その後、屋外での実際の説明。この日のために実際に刈込を行った垣根を前に、なぜ、この位置で枝を切ったか、新しい芽はどこから出るか、枝を切る道具とその使い方等の説明があり、午後4時前に終了しました。

自宅の庭の手入れに直結する説明だけに受講者の方も熱心に話を聞き、積極的に質問をされていました。

せたがや散歩道

玉電砧線の廃線跡を歩く

1907年(明治40年)に渋谷-二子玉川の玉川線開通に引き続き、1924年(大正13年)に二子玉川-砧本村に開通したのが砧線です(本紙62, 63号参照)。

1923年の関東大震災からの復興資材、と市内道路の補修用としての砂利の多摩川からの採取と輸送増による新路線の必要性が高まり開業したのです。

1969年地下鉄新玉川線への切り替えにより玉川線、砧線全線が廃止となり、砧線は49年間で営業停止となり、同じ区間をバス路線に引き継ぐことになりました。

廃止後の路線跡(廃線跡)は大部分が道路となり、バス、自動車等の一般交通に使用されています。今回この廃線跡を散歩道として紹介いたします。

下図は昭和30年当時の「世田谷古地図」で、二子玉川付近を示しています。当時は未だ砧線を運行している状況が示されています。

砧線は全行程約2.2km、単線で図上から二子玉川-砧本村に2駅が確認できます。全線単線で車両1両(ラッシュ時は2両)による運行でした。駅は中耕地、吉沢の2駅(廃業時)です。

では二子玉川から出発します！♪

1. 二子玉川-中耕地

現在の駅名は二子玉川、廃業時は二子玉川園でした。駅西口から玉川通りへ出て、そこを横切り、デパートに沿ってバス停(二子玉川)へ向かいます。そこから二つ目の角が、かつての電車道への入口です。あまりにも狭く、電車が通っていたとは思えない程ですが、ここから入っていきます(写真下)。

少し進むとこの道路に歩道が接して車道と合わせると道幅は倍近くになります。



この歩道を数十メートル進むと路面に絵タイルが見えてきます。さらに前方を見ると、歩道右側に砧線中耕地駅跡の石碑が見えます。この付近で二子玉川商店街と瀬田玉川神社を結ぶ道路と交差しています。また隣接するバス通りには中耕地バス停が見えます。



バス通りには中耕地バス停が見えます。

交差点を過ぎると道路は緑道の趣を呈し始め、車道との間あるいは隣接する民



世田谷古地図 昭和30年当時

家の側にさまざまな植栽が見られます。また路面や歩道の柵にはレールが使われ、数々の装飾品が見られるようになります。玉電廃線跡を意識した、まちづくりの成果と思われます。

2. 中耕地-吉沢

やがて緑道は大きな民家に突き当たります。そこで車道と歩道とが分かれ、緑道は歩道部分のみとなって吉沢方面へと延びていきます。

この道はすぐに大蔵通りに突当り、多摩堤通りと交差します。この交差点の近くに緑化運動を示す看板が建てられています。この辺が駅のあった場所ですが、それを示す遺跡などは見当たりません。

新線やおかしなところに駅ありし

3. 吉沢-砧本村



大蔵通りから、すぐに一級河川野川にかかる吉沢橋を渡ります。橋の中程の欄干には電車を描いた円盤状のレリーフが掛けられ、近くには、橋を渡



る電車の写真を頂部にはめ込んだ石碑が建てられ、橋の由来について説明があります。それによると吉沢橋は、2008年上流にあった道路用の橋と、この位置にある玉電用の橋が統合されて出来た橋と説明されています。

橋の変遷と走り去った玉電を懐かしむ気持ちの溢れる街並みです。

橋を過ぎると左側には民家が建ち並んでいますが、あるところで切れ目があり路地を経て多摩川の堤防へ出ることが出来ました。そこは一面の河川敷、一面の緑です。今は緑地運動場となっていますが、数十年昔は一面が砂利だっただろうと想像し、砧線の砂利輸送の役割もうなづけました。

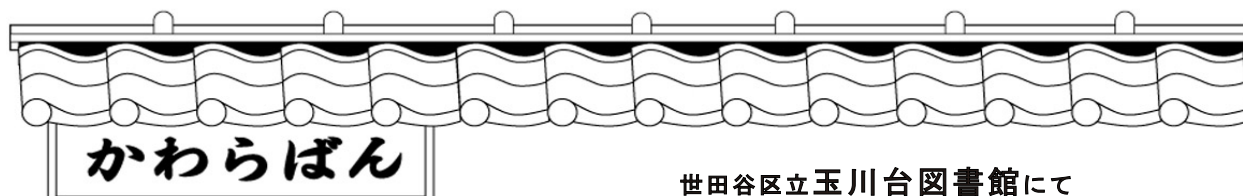
昭和4年版の古地図には「おほくら」という駅名が見えます。この駅には砂利の運送を効率的に行うためか側線が造られていました。前頁30年版の地図にはそれが消えています。すでに砂利採取は中止されていたのです。

その上の玉電跡やとんぼろ

砧本村駅に向かう玉電の専用軌道を思わせる道を行くとやがて二股路に出ます。右側はかつての玉電の軌道、現在は一方通行のバス道路となっています。左側は細い道路で、都水道局砧下浄水所を左にして進むと駒澤大学のキャンパスに突当ります。右側のバス道路を進むと正面に鎌田二丁目南公園(写真下)が見えてきます。玉電がこの公園内の駅に停車し、乗降客が利用していたのでしょうか。その公園の隣に現在のバス停(砧本村)があり営業中です。



砧本村バス停



かわらばん

トラストネットワークNo. 68を読んで

・せたがや里山ライフのすすめ

①食糧自給の軽視→経済性の重視→都市の画一化で多様性が失われる。

個々の人が考え、自分に合った生活が必要。強制してでもいろいろな体験させることが大切。

②「週末は里山暮らし」；二地域居住だから見えるもの。

馬場末織さん(NPO法人南房総リパブリック代表)の二地域居住している活動から話題に実践されている体験談の様子が伺われた。

・野川せせらぎ教室～川の生きもののさがし

・川底の魚をガサガサの仕方で、さがす楽しさがうかがわれました。

・安全を考えながら子供たちに実体験をさせるよい機会だと思います。

会場は野川の神明橋の下流側です。

・せたがや散歩道 史跡の散歩道(2)

～用水ルート～古民家と用水

天保年間の名主安藤家の水車跡、水神堂等仙川の水路を利用した農家の暮らしがよく分かります。写真、イラスト、地図などを使い、分りやすいページだと思います。いつもの俳句がなくて残念です。

・フラワーランド春の花まつり

写真がいっぱいで盛んな、大人も子ども楽しそうな様子がよく分かります。

・かわらばん いきものさんぽ

オオバコの踏まれても枯れないたくましさを感じます。

世田谷区立玉川台図書館にて

ネイチャーアート展

「(一財)世田谷トラストまちづくり」のボランティアグループ「彩草会」の会員の作品が7月14日～8月27日まで展示されました。

今回展示された10点の作品のテーマは「日本海浜の植物」でした。



写真上：展示コーナー

写真下：作品展示例



館長の小林さんの説明によると、ここ数年続けていろいろなテーマでの彩草会作品展を開催し、来館者の関心も高く、特に精密な画とその作画技法に興味を示される方が多いそうです。

編集後記 7月下旬から8月中旬までの猛暑。今年は去年より暑いと毎年感じる様ですが、自然界も同じ様です。白桃が暑さの為に出来がよくないとか。果物店がいつのまにか消え季節感の乏しい街になっています。

69号作成に関わったメンバー

大泉定雄 片寄正史 北畠明子 須永澄子
高梨麻実 田澤與光 野武一郎 宮下正雄